

平成28年 第3回 定例会

田原本町議会会議録

平成28年9月15日

午前10時00分 開議

於田原本町議会議場

1, 出席議員 (14名)

1番 牟田和正君	2番 阪東吉三郎君
3番 森井基容君	4番 安田喜代一君
5番 森良子君	6番 古立憲昭君
7番 西川六男君	8番 竹邑利文君
9番 辻一夫君	10番 吉田容工君
11番 植田昌孝君	12番 松本美也子君
13番 小走善秀君	14番 吉川博一君

1, 欠席議員 (0名)

1, 出席した議会事務局職員

議会事務局長 坂本定嗣君 議事係長 森惠啓仁君

1, 地方自治法第121条の規定により出席した者

町長 森章浩君	総務部長 持田尚顕君
住民福祉部長 中屋敷晃弘君	産業建設部長 森博康君
上下水道部長 山田英二君	人事課長 三浦明君
監査委員 井上喜一君	教育委員長 田部井紀美子君

教 育 長	片 倉 照 彦 君	教 育 部 長	竹 島 基 量 君
会 計 管 理 者	奥 山 佳 延 君	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長	北 田 喜 史 君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	山 内 章 司 君		

平成28年田原本町議会第3回定例会議事日程

9月15日（木曜日）

- 開 議（午前10時）
- 委員長報告（議第37号より議第43号まで及び認第1号の8議案について）
- 質 疑
- 討 論
- 採 決
- 閉会中の継続審査について
- 議長閉会挨拶
- 町長閉会挨拶
- 閉 会

本日会議に付した事件

議事日程に同じ

午前10時00分 開議

○議長（辻 一夫君） ただいまの出席議員数は14名で定足数に達しております。
よって、議会は成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

日程に入ります。

委員長報告（議第37号より議第43号まで及び認第1号の8議案について）

○議長（辻 一夫君） 去る5日の本会議において一括上程されました議第37号、平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてより、議第43号、天理市との定住自立圏形成協定の締結について及び認第1号、平成27年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定についての8議案については、各所管の委員会におのおの付託されておりますので、この際一括議題といたします。

それでは、ただいまより各委員長の報告を求めることにいたします。

総務文教委員会委員長、10番、吉田議員。

（10番 吉田容工君 登壇）

○10番（吉田容工君） それでは、議長のご指名によりまして、総務文教委員会を代表いたしまして委員長報告を申し上げます。

平成28年田原本町議会第3回定例会におきまして、総務文教委員会に付託されました議案につき、去る9月8日午前10時より委員会を開催し、全委員の出席のもと、理事者を初め関係部課長出席を求め、慎重に審議をいたしました経過並びに結果についてご報告申し上げます。

まず、議第38号、平成28年度田原本町一般会計補正予算（第3号）につきましては、補正予算額は3,025万7,000円の増額で、予算総額は130億737万5,000円となります。

このうち、当委員会所管の補正予算についてご報告申し上げます。

歳出予算のうち、第2款総務費736万1,000円の増額は、本町の情報システムセキュリティを強化する目的で、県の情報セキュリティクラウドを通じてのみインターネット等の利用ができるようにするための対応として、本町のネットワー

ク機器等の設定変更並びに導入に要する経費で、財源につきましては繰越金であります。

また、第8款消防費は、予算規模には変更がなく、消防団員のジャンパーを購入するに当たり、消防団安全装備品整備等助成金を活用できることになり、一般財源の減額と諸収入を増額して財源調整を図るものであり、当委員会は全員賛成で原案どおり了承いたしました。

次に、議第43号、天理市との定住自立圏形成協定の締結につきましては、国の定住自立圏構想推進要綱に基づき、天理市と定住自立圏形成協定を締結することについて、田原本町議会の議決すべき事件に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求められるもので、中心市の天理市などとの連携を強化することにより、財源も確保でき、本町の魅力を高める可能性があることを確認しましたので、当委員会は全員賛成で原案どおり了承いたしました。

また、理事者より幼稚園園舎耐震工事の状況、合併60周年記念式典事業、地方創生推進交付金事業の交付金の状況及び唐古・鍵考古学ミュージアムリニューアル工事の補助金が不採択になった旨の報告を受けました。

当委員会は、幼稚園園舎の耐震改修について、来年の夏休みに文科省が定める耐震性能の確保を求めました。また、合併60周年記念式典の業務委託については、プロポーザル方式の業者選定方式について考える必要があるのではとの意見があり、町長より、今後あり方を検討していきたいとの答弁を得ました。

以上、当委員会に付託されました各議案につきましてご報告申し上げ、委員長報告とさせていただきます。

○議長（辻 一夫君） 厚生建設委員会委員長、6番、古立議員。

（6番 古立憲昭君 登壇）

○6番（古立憲昭君） 議長のご指名によりまして、厚生建設委員会を代表いたしまして委員長報告を申し上げます。

平成28年田原本町議会第3回定例会におきまして、厚生建設委員会に付託されました議案につき、去る9月8日午後1時より委員会を開催し、全委員出席のもと、理事者を初め関係部課長の出席を求め、慎重に審査をいたしました経過並びに結果についてご報告申し上げます。

まず、議第38号、平成28年度田原本町一般会計補正予算（第3号）につきましては、補正予算額は3,025万7,000円の増額で、予算総額は130億737万5,000円となります。このうち当委員会所管の補正予算についてご報告申し上げます。

補正内容につきましては、歳出、第3款民生費278万1,000円の増額は、介護従事者の負担軽減を図る目的とした介護ロボット促進事業に取り組む町内の3法人の3事業に対する補助金であります。

第5款農林水産業費2,011万5,000円の増額は、水と農地活用促進事業の井堰及び農道整備などであります。

なお、補正財源につきましては、国庫支出金、県支出金、分担金及び繰越金などであり、内容、施工場所等を確認の上、当委員会は全員賛成で原案どおり了承いたしました。

次に、議第39号、平成28年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、補正予算額183万円の増額で、予算総額は39億5,225万3,000円となります。

補正内容といたしまして、平成30年4月から県単位化に伴い、保険者となる奈良県に標準保険料の算定に必要なデータを提供するために、本町の国民健康保険コンピューターシステムを改修する業務委託に要する経費であります。

なお、補正財源につきましては、国庫支出金であり、当委員会は全員賛成で了承いたしました。

次に、議第40号、交流促進施設（道の駅）造成・唐古12号線道路改良工事の請負契約締結につきましては、唐古地内の交流促進施設（道の駅）整備用地の造成工事として盛り土4,400立方メートルの転圧整地や雨水調整池の設置及びその南側に位置する町道唐古12号線の改良工事として、工事延長89メートルにプレキャストボックスカルバートの設置等をされるもので、事後審査型条件つき一般競争入札の結果、契約金額7,149万6,000円で、田原本町大字宮古345番地、株式会社堂浦土木、代表取締役堂浦克友と請負契約を締結されるものであり、当委員会は全員賛成で原案どおり了承いたしました。

次に、議第42号、指定管理者の指定につきましては、田原本町ふれあい農園

(八尾、秦庄地内)の指定管理者に、奈良市大森町57番地の3、奈良県農業協同組合、代表理事理事長榎田忠敬を指定し、指定の期間を平成28年10月1日から平成33年9月30日までとされるものであり、当委員会は全員賛成で原案どおり了承いたしました。

また、その他の案件として5点の報告を受けました。1点目は、田原本町合併60周年記念事業についてであります。2点目は、田原本町と畿央大学との包括的な連携協力に関する協定の締結についてであります。3点目は、交流促進施設(道の駅)の指定管理者についてであります。準備段階からオープンできる体制づくりを進めていく必要があるため、指定管理候補者として事業者の選定を進めたいことについてであります。4点目としては、磯城郡における水道事業の広域化に関する覚書の締結についてであります。5点目は、地方創生推進交付金対象事業についての報告、以上5点の報告を受けたものであります。

以上、当委員会に付託されました各議案につきましてご報告申し上げ、委員長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長(辻一夫君) 決算審査特別委員会委員長、13番、小走議員。

(13番 小走善秀君 登壇)

○13番(小走善秀君) 議長のご指名によりまして、決算審査特別委員会を代表いたしまして委員長報告を申し上げます。

平成28年9月5日、田原本町議会第3回定例会におきまして、決算審査特別委員会が設置され、去る9月9日、12日の2日間にわたり会議を開き、全委員出席のもと、理事者を初め部課長の出席を求め、時間延長もお願いし、慎重に審査をいたしました経過並びに結果についてご報告申し上げます。

認第1号、平成27年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定について及び議第37号、平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご報告申し上げます。

まず、会計管理者より総括的に主要施策の成果の説明を受け、次に関係部課長より事業等の成果の概要につき説明を受け、さらに詳細にわたり答弁を求めたのでございます。

それではまず、一般会計歳入歳出決算についてご報告申し上げます。

審査いたしました決算額は、歳入総額138億3,022万2,000円、歳出総額129億5,730万5,000円で、歳入歳出差し引き額は8億7,291万7,000円となり、平成28年度に繰り越されておりますが、繰越明許費として翌年度へ繰り越すべき財源8,635万6,000円があり、実質収支は7億8,656万1,000円となりました。

なお、前年度の実質収支が8億7,723万5,000円であるので、単年度における収支は9,067万4,000円の赤字となっております。

歳入について申し上げますと、予算額に対し94.9%の収入割合となっております、そのうち町税においては歳入全体の26.4%、36億5,400万7,000円で、予算額に対し2,687万8,000円の増収であります。

次に、地方交付税は21.2%、29億2,871万3,000円で、予算額に対し1億6,071万3,000円の増収となっております。

また、国県支出金においては、障害者に対する支援費、保育所運営費、児童手当に対しての負担金などの収入で15.8%、21億7,957万6,000円であります。

また、町債につきましては、臨時財政対策債、生涯学習センター建設事業借換債及び中継施設建設事業などに借り入れされたもので、17.5%、24億1,950万円となっております。

以上が歳入の主なものであります。

次に、歳出について申し上げますと、予算額に対する執行率は88.9%でございます。

その歳出の主なものを性質別で見ますと、人件費が歳出全体の14.7%、19億194万3,000円であります。

次に、扶助費が14.5%、障害者自立支援介護・訓練等給付費負担金、保育所運営費負担金及び児童手当など18億8,170万7,000円の支出となっております。

また、補助費等につきましては11.7%、国保中央病院組合負担金、奈良県広域消防組合分担金及びやまと広域環境衛生事務組合負担金など15億1,746万5,000円の支出であります。

投資的経費は13%であり、地域密着型サービス施設等整備促進事業、道路新設改良事業、唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業、中継施設建設事業など16億8,388万3,000円の支出となっております。

なお、繰出金は12%で、国民健康保険、公共下水道事業、後期高齢者医療及び介護保険の各特別会計等へ15億5,321万9,000円を支出しております。

以上が歳出の主なものでございます。

それでは、続きまして、審査の経過及び結果につきましてご報告いたします。

まず、公共施設等総合管理計画の内容について尋ねたところ、限られた財源の中で施設を有効に活用し、住民サービスの質を維持しつつ、経費削減を図りながら施設の整備や更新を図っていくため、平成27年度、28年度で策定中であるとの答弁を得たのであります。

次に、まち・ひと・しごと総合戦略に基づく具体的な施策について尋ねたところ、定住促進など人の流れをつくる施策や結婚、出産、子育てを行う若者への支援、また地域コミュニティ強化など安心して暮らせる地域づくり等を目指した施策、まち・ひと・しごと総合戦略に位置づけるとの答弁を得たのであります。

次に、待機児童の解消見込みについて尋ねたところ、現在、田原本町子ども・子育て支援事業計画に基づき研究をしており、幼稚園の預かり保育の実績も見て、平成30年度までに対応を考えたいとの答弁を得たのであります。

次に、プレミアム商品券発行事業の事業効果について尋ねたところ、約6,100万円の消費喚起効果があったとの答弁を得たのであります。

次に、放置自転車禁止区域の巡視状況について尋ねたところ、週1回のペースで道路パトロールと同時に実施しており、撤去台数は前年度の3分の1に減少したとの答弁を得たのであります。

なお、過日の不適正な会計処理の事案を踏まえ、今後は事務等に係るチェック体制を構築し、支払い遅延にならないよう指摘したのであります。

続きまして、国民健康保険特別会計決算についてご報告申し上げます。

決算額は、歳入総額44億1,089万8,000円、歳出総額39億470万5,000円で、歳入歳出差し引き額は5億619万3,000円となり、平成28年度に繰り越されておりますが、前年度の実質収支が4億7,876万6,000

0円であるので、単年度における収支は2,742万7,000円の黒字となっております。

まず、特定健康診査の実施について尋ねたところ、平成27年度では対象者5,782人、受診者1,581人で、受診率は27%との答弁を得たのであります。

次に、短期証の交付や保険証の窓口留保について尋ねたところ、短期証発行120世帯、一年証発行144世帯、窓口留保113世帯との答弁を得たのであります。

続きまして、住宅新築資金等貸付事業特別会計決算についてご報告申し上げます。

決算額は、歳入総額、歳出総額ともに238万5,000円でございますが、前年度の実質収支が99万8,000円であるので、単年度における収支は99万8,000円の赤字となっております。

まず、貸付金残高等について尋ねたところ、貸付金残高が519万6,000円の起債残高が239万5,000円、基金残高が557万3,000円との答弁を得たのであります。

次に、滞納の2件について尋ねたところ、1件については連帯保証人に対し、回収管理組合において現在係争中であるとの答弁を得たのであります。

続きまして、公共下水道事業特別会計決算についてご報告申し上げます。

決算額は、歳入総額、歳出総額ともに15億7,971万3,000円でございます。

まず、汚水処理基本構想について尋ねたところ、持続的な汚水処理システムの構築に向けた田原本町汚水処理基本構想の策定を実施し、この中で現時点における家屋の分布状況等から、下水道で汚水処理すべき区域、合併処理浄化槽で個別に汚水処理すべき区域の線引きを行い、今後合併処理浄化槽対応となる区域については、ご理解、ご納得いただけるよう十分な対応を図っていくとの答弁を得たのであります。

次に、地方公営企業法の適用後、本町はどのように変わることについて尋ねたところ、経営成績や財政状況を正確に評価、判断することが可能になる。このことにより、必要な住民サービスを将来にわたり安定的に提供し、経営の健全化を図って

いくとの答弁を得たのであります。

続きまして、後期高齢者医療特別会計決算についてご報告申し上げます。

決算額は、歳入総額3億9,653万円、歳出総額3億8,770万5,000円で、歳入歳出差し引き額は882万5,000円となり、平成28年度に繰り越されておりますが、前年度の実質収支が102万円であるので、単年度における収支は780万5,000円の黒字となっております。

保険証の窓口における保管件数についてお尋ねしたところ、現時点での保管件数はないとの答弁を得たのであります。

続きまして、介護保険特別会計決算についてご報告申し上げます。

決算額は、歳入総額25億7,516万5,000円、歳出総額24億9,705万6,000円で、歳入歳出差し引き額は7,810万9,000円となり、平成28年度に繰り越されておりますが、繰越明許費として翌年度へ繰り越すべき財源67万2,000円があり、実質収支は7,743万7,000円となりました。

なお、前年度の実質収支が3,391万6,000円であるので、単年度における収支は4,352万1,000円の黒字となっております。

まず、施設介護サービス給付費の増加要因について尋ねたところ、老人保健施設のサービスの利用者が増加したものであるとの答弁を得たのであります。

次に、総合事業で要支援1・2の方が保険給付から地域支援事業に移行した関係で生活支援サービスの充実をどうしていくかについて尋ねたところ、地域包括システムで医療、住まい、介護、生活支援、予防の5つの要素を一体化した地域のネットワークを構築し、その中で高齢者の生活支援を具体的に考えていきたいとの答弁を得たのであります。

続きまして、磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計決算についてご報告申し上げます。

決算額は、歳入総額1,516万7,000円、歳出総額1,430万4,000円で、歳入歳出差し引き額は86万3,000円となり、平成28年度に繰り越されておりますが、前年度の実質収支が263万2,000円であるので、単年度における収支は176万9,000円の赤字となっております。

要介護認定の2次判定での変更率及び軽度化への変更理由について尋ねたところ、田原本町は、10.7%の変更率で、軽度への変更は9.4%、重度への変更は1.3%となっており、軽度化への変更の要因は、入院中での調査を行ったものに関しては、医療関連が外れている情報があれば判定が軽度化になることがある。また、要介護度のそれぞれの境界線上にある人については、特記事項に過剰介護の記載があれば軽度化になるが、適正に審査されているとの答弁を得たのであります。

続きまして、水道事業会計決算についてご報告申し上げます。

議第37号、平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分についても本決算に付随する議案であることから、あわせて審査いたしました。

まず、水道事業会計決算についてご報告申し上げます。

収益的勘定では、収入総額が8億9,806万6,000円、支出総額が8億3,783万1,000円で、消費税を差し引いた当年度の損益計算書では、5,777万7,000円の純利益となり、地方公営企業会計制度の見直しにより発生したその他未処分利益剰余金変動額1,200万円を合わせた結果、当年度未処分利益剰余金は6,977万7,000円となっております。

まず、有収率の低下について尋ねたところ、濁り水の発生を防止する対策としての洗管が増えたこと、また管路の異常に注視して漏水修理に努めたいとの答弁を得たのであります。

次に、低い金利への企業債借り換えについて尋ねたところ、財政融資等は全て補償金が必要であることから、借り換えは考えにくいとの答弁を得たのであります。

続きまして、議第37号、平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、地方公営企業会計制度の見直しにより発生した未処分利益剰余金の6,977万7,000円のうち、1,200万円を資本金に組み入れる処分を行ったのであります。

なお、その結果、繰越利益剰余金は5,777万7,000円となったものであります。

以上、ご報告申し上げます各会計決算は、予算執行の原則に基づき、限られた財源を効率的に執行されておりましたが、審査の中で各委員からの貴重な意見や提

案事項につきましては、今後の行財政運営に反映されまして、本町の発展、住民福祉の向上及び安全・安心なまちづくりになお一層努力されることを要望いたしました。

それでは、審査いたしました各会計別決算の採決結果について申し上げます。

認第1号、平成27年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定につきましては、一般会計及び国民健康保険特別会計については賛成多数。

住宅新築資金等貸付事業特別会計については全員賛成。

公共下水道事業特別会計及び後期高齢者医療特別会計については賛成多数。

介護保険特別会計については全員賛成。

磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計については賛成多数。

水道会計については全員賛成となりました。

以上、平成27年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定につきましては原案どおり認定すべきものと決したのでございます。

また、議第37号、平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、賛成多数で了承いたしました。

以上、当委員会に付託されました議案につきましてご報告申し上げ、委員長報告とさせていただきます。長時間にわたりご清聴いただきありがとうございます。

○議長（辻 一夫君） 清掃工場建設検討特別委員会委員長、8番、竹邑議員。

（8番 竹邑利文君 登壇）

○8番（竹邑利文君） 議長の指名によりまして、清掃工場建設検討特別委員会を代表いたしまして委員長報告を申し上げます。

平成28年田原本町議会第3回定例会におきまして、清掃工場建設検討特別委員会を去る9月14日午後1時より開催し、全委員出席のもと、理事者を初め関係部課長の出席を求め、慎重に審査をいたしました経過並びに結果についてご報告申し上げます。

まず、議第41号、財産の取得につきましては、来年4月から本町清掃センターで使用される油圧ショベルの購入であり、指名競争入札の結果、取得金額669万6,000円で、天理市荒蒔町348番地の2、コマツ建機販売株式会社奈良支店、支店長鎌守信一を契約相手とし、財産取得されるものであり、当委員会は全員

賛成で原案どおり了承いたしました。

次に、やまと広域環境衛生事務組合が施工しております新焼却施設建設の進捗状況については、現在、工場棟の外壁部分に着手されており、並行して焼却炉、発電設備、集じん機などの機械設備の備えつけ作業が行われているとの報告を受け、その後、建設地の視察を実施し、施設概要の説明を受け、進捗状況を確認したところでございます。

また、組合で実施された新施設の名称募集については、240件の応募があり、決定された名称は組合ホームページで発表される予定であるとの報告を受けたところでございます。

以上、当委員会において付託されました議案並びに経過報告等につきましてご報告申し上げ、委員長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（辻 一夫君） 続きまして、唐古鍵遺跡整備検討特別委員会に付託案件はありませんが、本定例会までの経過等について報告を求めます。唐古鍵遺跡整備検討特別委員会委員長、12番、松本議員。

（12番 松本美也子君 登壇）

○12番（松本美也子君） 議長のご指名によりまして、唐古鍵遺跡整備検討特別委員会を代表いたしまして委員長報告を申し上げます。

平成28年田原本町議会第3回定例会におきまして、去る9月14日午前10時より委員会を開催し、全委員出席のもと、理事者を初め関係部課長の出席を求め、慎重に審査いたしました経過についてご報告を申し上げます。

まず、経過報告につきまして、今年度は遺構展示施設の建築工事と展示施設周りの擁壁工など及び復元整備ゾーン西側の水路工並びに園路の舗装工事を行う予定であり、遺構展示施設の建築工事については、次回定例会に議案の提案を予定している旨の報告を受けたものであります。

続いて、史跡公園整備地の視察を行い、整備の進捗状況について現地で報告を受けたものであります。

以上、当委員会で審査されました経過等につきましてご報告を申し上げ、委員長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（辻 一夫君） 以上をもちまして各委員長の報告を終わります。

それでは、ただいまの各委員長の報告に対し質疑を許します。質疑ありませんか。

(「ありません」と呼ぶ者あり)

○議長(辻 一夫君) ないようですので、これにて質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。まず、原案に反対者の発言を許します。10番、吉田議員。

(10番 吉田容工君 登壇)

○10番(吉田容工君) それでは、反対討論に参加させていただきます。

まず、議第37号、平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について反対討論をいたします。

議題には、平成27年度未処分利益剰余金の処分についてとありますが、示されている内容は、当年度未処分利益剰余金6,977万7,376円、処分の方法、資本金に組み入れ1,200万円のみです。残りの額5,777万7,376円をどのように処分するのか全く書かれていません。今議会に提案されているのは、議題に対して未完成な内容が提案されています。中途半端な議案を可決したら、それこそ議会の権威にかかわります。議員の皆さん、ご一緒に反対の意を示していただきますようよろしくお願いいたします。

次に、認第1号、平成27年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定について反対討論をします。

まず、一般会計について反対の理由を述べます。

気象警報発令等の予備動員等についてただしました。予備動員15人のうち、出勤に1時間以上かかる職員が18%を占めているという説明でした。緊急動員にもかかわらず、1時間以上かかっているのは、いざというときに合わないことを指摘しました。また、以前、緊急動員時、遅くなることを苦にした課長が辞職された事例も示し、採用時、緊急動員出動で45分以内に出動できることを条件とすることを提案しました。担当課からは、採用に当たってそのような条件はつけられないと答弁がありました。今後、遠方に住まいする職員が増えると、緊急動員対応できなくなると指摘いたしました。

本庁舎以外の町施設や街路灯のLED化をどう進めるのかただしました。本庁舎

のLED化は、効果を見られたが、高コストがかかるという理由で学校等のLED化は行わない旨の答弁がありました。最近では、器具をかえなくてもLED化できることを示し、LED化を進めるよう求めました。

ももたろう号の運行状況についていただきました。稼働率84.5%で、8%向上したと答弁がありました。登録者数1,877人のうち利用者が331人であり、もっと利用されるよう、あいている時間には臨機応変に対応するよう求めました。

唐古にある株式会社I・T・Oの資材置き場について、産廃等が搬入されないか、どの部署が監視等を担当するのかいただきました。総務部長からは、騒音と振動については調査する旨の答弁でしたが、建設部長はごみ収集の際、目線で確認すると答弁がありました。監視とは、現場の状況を記録することです。そこで、どの部署が担当するのか尋ねると答弁がなく、立っておられるだけでした。プレスした洗濯機などが搬入されており、既に産廃が持ち込まれていることを示し、総務部長が責任を持って監視するよう求めました。

老人福祉センター指定管理の所長が利用者に暴言を吐いた件で、町は以前、所長の交代も辞さないと表明されていたかどうなったのかいただきました。担当者からは、引き続き所長をされていること、利用者への対応が改善されたという答弁を得ました。利用者第一で対応するよう指摘します。

臨時福祉給付金の支給状況をいただきました。予想対象者7,000人は、国の係数を参考に算出した数字であること、実際には2,501人の受給にとどまったことが判明しました。今後の対応をただしたところ、税情報を取り入れて対象者を特定し、受給資格のある方に確実に書類を届け受給を促進したい旨の答弁を得ました。

学童保育指定管理料についていただきました。予算説明時、指導員の時給単価を930円にするという説明を受けていたのに、実際には時給単価880円で採用されていることが判明しました。議会に説明する際は、議会を軽く扱うことなく正確を期すよう求めました。

保育所入所状況をいただきました。町外の幼児が3園で63人入所していること、その反面、町外に47人が他市町の保育園を利用していること、今年4月1日現在でゼロ歳児から3歳児まで合計38人の待機されていることが判明しました。どの

ように対応するのかなかたただしたところ、認定こども園等さまざまな受け入れ先を確保するという答弁でした。

高齢者の予防接種の実績をただしました。高齢者インフルエンザワクチンの接種率は47%、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種率が43%という低率であることが判明しました。ワクチンは広く接種してこそ流行を抑えることができることから、もっと多くの方が接種するためには、自己負担額を下げる等対策を求めました。接種したい人が接種できるようにすることをここで指摘します。

ごみ収集車の取得年についてただしました。所有10台の中に平成17年取得1台、平成18年取得1台があることが判明し、高額な車であり、修理できるものは修理で対応するという答弁でした。来年度からは、高速道路を走行することになることから、買いかえにちゅうちょしないよう求めました。

おおよまととの合特法に基づく契約についてただしました。平成28年度、今年度から始まる第3期事業計画が合意にならず、この間調停で話し合っていることが判明しました。大規模災害時、バキュームカーでのくみ取りがどうしても必要になることから、十分話し合った上で、早期に契約するよう求めました。

プレミアム商品券の経済効果についてただしました。担当者からは、6,133万円の経済効果があったと答弁がありました。2億6,235万円を使った事業がわずか6,100万円の経済効果しかなかったことは残念です。

農業費での郵便料について、明細の提出を求めました。担当者からは、シートで郵便切手を購入し管理しているという答弁がありました。決算の金額と切手使用額が一致しないこととなります。企業会計では、切手は現金勘定で管理しますので、現金扱いされていないことにびっくりしました。委員会では、監査の対象にするよう等改善を求めました。郵便局には、料金別納制度や料金後納制度があります。各課で切手を管理するのではなく、なるべく切手を使わない制度に改善するよう、この場で改めて求めます。

放置自転車巡回回数についてただしました。不定期であるが、週1回のペースで巡回していること、平成27年度は28台の自転車を撤去したという答弁です。放置自転車等が増えているという苦情が届いていることを示し、対応するよう求めました。

耐震改修促進計画改定についてただしました。平成32年度までに住宅の耐震化率を95%にするという答弁を得ました。にもかかわらず、年度中の耐震改修補助金は4件の申し込みに対し、抽せんで3件しか補助金を出しておらず、1件は断ったことが明らかになりました。町の耐震改修に対する本気度がここに見えました。耐震改修を促進するためにも予算額を増やすよう求めました。

立地適正化計画についてただしました。示された計画資料には、コンパクトシティに向けた取り組みをすると書かれていました。コンパクトなまちづくりとコンパクトシティとは全く違うこと、5町村が昭和31年合併して60周年事業を行っているにもかかわらず、旧田原本町だけ残ればいい、旧多村、旧川東村は疲弊してもしようがないというまちづくりを認めるわけにはいきません。町長からは、周辺地域は別の基準でまちづくりをしていくと苦しい説明がされましたが、人口3万人、面積21平方キロメートルという町で、ダブルスタンダードのまちづくりはできません。再考を求めます。

町営住宅の空き状況をただしました。金沢に8戸の空きがあること、今のところ入居の予定がないことが判明しました。管理を地元自治会がやっているとはいっても、入居予定がなければ公募を実施し、住宅を必要とする方に住居を提供するよう求めました。

自主防災組織補助金についてただしました。現状は、年1回しか支給していないこと、平成29年度からは限度額まで回数制限なく交付するよう改める旨の答弁がありました。

給食の食べ残しについてただしました。牛乳を除く食べ残しは、東小学校では1人当たり0.26キログラム、平野小学校では0.57キログラム、北小学校では2.76キログラム、田原本小学校では1.2キログラム、南小学校では1.59キログラムであることが判明しました。原因についてはわからないという答弁でした。そこで、このままでは直営の学校が少なく、民間委託の学校が多いという結果になることを指摘しました。

中学校の時間外勤務についてただしました。1カ月100時間を超える残業をしている教職員が60人中27人もおられることが判明しました。委員の中からは、ボランティアで当たり前という発言もありましたが、衛生管理上、8時間を超えな

いよう不断に努力することが管理者に求められることを指摘します。

社会体育での熱中症対策についてただしました。チラシの掲載や大型扇風機の設置等説明をいただきました。県民グラウンドの冷水機が壊れていることを指摘しました。野球をしている子どもがスパイクを脱いで体育館内の冷水機まで水をくみにきていることをお知らせし、対応するよう求めました。

町税等の滞納状況等をただしました。差し押さえ件数80件、執行停止222件という答弁でした。たくさんの町民の方が町税を支払うことができない状態であることが判明しました。徴税猶予や換価の猶予など法律の規定を準用すること、生活実態を把握すること、苛酷な徴求をしないよう求めました。

消費税増税で増えた地方消費税の使い道をただしました。担当者からは、2億1,100万円交付額が増えたことが明らかになりました。ところが、一般会計から福祉や社会保障に支出した金額が平成26年度に比べて6,600万円も減っていることも明らかになりました。安倍首相が、全て社会保障に充てると表明されていたのに、6,600万円も流用したことになります。消費税増税分は全て社会保障費に充てるよう求めます。

ごみ袋の売り上げが1億円を超えておることについてただしました。リサイクル用の袋を購入して、缶、ペットボトル等を出している。橿原市はコンテナ回収しており、袋を購入する必要はありません。このごみ袋の売上金を活用してリサイクル用の袋を配布する等求めました。

町が既に処分されていますが、大量の支払い漏れがあった生涯学習事業費についてただしました。約20件、400万円もの支払い漏れがあったことが示されました。これは、支払い漏れでなく意図的に支払いを放置したものです。5月に払うべき講師謝金が1年後にやっと支払いされました。6月に行った吹奏楽委託料約80万円がほぼ1年後の4月に支払われた等、本町の信頼を失墜しただけでなく、吹奏楽団やジャズオーケストラの運営に大きな損害を与えたことになります。そこで、再発防止策を尋ねたところ、課内でのチェックを強化するという答弁でした。支出命令書の確認等会計課でもチェックするよう求めました。5月に支払うはずの経費が翌年4月になって払っていないことが判明し、実態を調査した上で何とか年度内に支払いをした今回の決算は、正常な処理ではありません。議会として行政に反省

を求めるためにも本決算を否認されることを求めます。

次に、国民健康保険特別会計決算について反対の理由を述べます。

保険財政共同安定化事業が平成27年度から全てのレセプトを対象にしたことについてどのような影響があったのかただしました。ところが、残念ながら分析していないという答弁でした。制度変更についてはちゃんとフォローし、対策を講じるよう指摘しました。

特定健診受診状況をただしました。平成27年度、27.3%だったという答弁でした。受診率を60%引き上げるため、これまで指摘している医師会との連携を強化するよう求めました。町の事情から出発するのではなく、医師会の希望をもとに制度設計するよう提案しました。

保険税の滞納対応と保険証窓口留め置きについてただしました。延べ滞納者699人のうち206人を支払い能力がないと判定して執行停止処分をしているということでした。執行を停止した方に保険証を交付しているのかとただしたところ、窓口相談に来た方だけに渡しているという答弁でした。国保税を払えないと認定し執行停止した方に対して速やかに保険証を交付するよう求めました。なお、今でも100人を超える方の保険証を窓口留め置きしていることに対しては、速やかに交付することを求めます。国保は命を守る制度です。

次に、公共下水道事業特別会計決算について反対の意見を述べます。

地方公営企業会計の移行についてどのような影響、効果があるのかただしました。下水道使用料収入4億円に対して維持管理費2億円、人件費は町が負担するとして、借金返済額8億円、独立採算では返済ができないこと、返済はこれまで積極的に借金をつくってきた町が責任を持って返済するのかの質問に、担当者は明確な説明ができませんでした。町民が納得できる説明責任を果たすよう求めました。

汚水処理総合基本計画の内容をただしました。下水道で汚水処理すべき地域と合併処理浄化槽で個別処理すべき地域の線引きを行うという答弁でした。同じ住民税を負担されている住民が納得できる説明責任を果たすよう求めました。また、線引きの経済比較は、下水道建設費と維持費を合わせた金額と合併処理浄化槽の建設費と維持管理費を合わせた額と比較していることから、合併処理浄化槽の維持管理費は町が負担することを求めました。

次に、後期高齢者医療特別会計決算について、反対の意見を述べます。

歳入歳出差し引き残高が、前年度100万円から800万円に増えた要因をただしました。残念ながら明確な答弁はいただけませんでした。保険料収入が1,500万円増え、後期高齢者医療広域連合納付金は1,200万円しか増えていません。連合会は、平成28年度の保険料を値上げしました。根拠がわかりません。広域で一方的に決められたのではなく、町が説明責任を果たすべきです。

次に、磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計決算について反対意見を述べます。

2次判定変更について、軽度への変更が9.4%と高率であることについてただしました。担当者からは、入院中、訪問調査をし、判定時に退院されていると点滴が外れている等チェック項目が軽減される等の説明がありました。以前、車を運転している事例があり、判定を軽くしたという説明があったことから、2次判定で変更された事例を内容を把握するよう求めました。保険給付を減らすがための判定基準変更があってはならないことから反対いたします。

以上です。

○議長（辻 一夫君） ほかにありませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（辻 一夫君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。ありませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（辻 一夫君） ないようですので、これにて討論を打ち切ります。

それでは、これより採決に入ります。

議第37号、平成27年度田原本町水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてを採決いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

（挙手する者あり）

○議長（辻 一夫君） 賛成多数と認めます。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続きまして、議第38号、平成28年度田原本町一般会計補正予算（第3号）を採決いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告

どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○議長(辻 一夫君) 全員賛成と認めます。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続きまして、議第39号、平成28年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)を採決いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○議長(辻 一夫君) 全員賛成と認めます。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続きまして、議第40号、交流促進施設(道の駅)造成・唐古12号線道路改良工事の請負契約締結についてを採決いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○議長(辻 一夫君) 賛成多数と認めます。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続きまして、議第41号、財産の取得についてを採決いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○議長(辻 一夫君) 全員賛成と認めます。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続きまして、議第42号、指定管理者の指定についてを採決いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○議長(辻 一夫君) 全員賛成と認めます。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続きまして、議第43号、天理市との定住自立圏形成協定の締結についてを採決

いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○議長(辻 一夫君) 全員賛成と認めます。よって、本議案は原案のとおり可決されました。

続きまして、認第1号、平成27年度田原本町各会計歳入歳出決算の認定についてを採決いたします。本議案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長の報告どおり決することに賛成諸君の挙手を求めます。

(挙手する者あり)

○議長(辻 一夫君) 賛成多数と認めます。よって、本議案は原案どおり可決されました。

以上をもちまして今期定例会に付議されました議案については、全て議了いたしました。

閉会中の継続審査について

○議長(辻 一夫君) お諮りいたします。それぞれの委員長より審査中の事件について閉会中の継続審査に付したいとの申し出がありますが、これに付することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(辻 一夫君) ご異議なしと認めます。よって、それぞれの委員長の申し出どおり、会議規則第74条の規定により閉会中の継続審査に付することにいたします。

以上をもちまして今期定例会の日程は全て終了いたしました。よって、今期定例会は本日をもって閉会といたします。

閉会に当たり一言ご挨拶申し上げます。

本定例会は去る5日に開会し、本日までの11日間の長きにわたり、終始熱心に慎重に審議を賜り、平成27年度各会計歳入歳出決算の認定を初め全ての重要議案を議了でき得ましたこと、心より感謝申し上げます。

理事者におかれましては、本会議並びに委員会での意見等を十分尊重され、町政

全般にわたりより一層の向上を期されるようお願いする次第でございます。

さて、今年、田原本町合併60周年という節目の年であります。議会といたしましても、改めて歴史を振り返り、また10年、20年先の未来を見据え、少子・高齢化や人口減少問題など山積する課題に取り組んでまいりたいと存じます。皆様におかれましても、季節の変わり目、健康管理に十分ご留意され、今後も町勢発展にご尽力いただきますようお願い申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

町長閉会挨拶

○議長（辻 一夫君） それでは、閉会に当たりまして町長より挨拶を受けることにいたします。町長。

（町長 森 章浩君 登壇）

○町長（森 章浩君） 議長のお許しをいただきまして、平成28年田原本町議会第3回定例会の閉会に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、公私何かとご多用の中、去る9月5日から本日までの長きにわたり、提案させていただきました各議案につきまして、慎重にご審議を賜り、しかも各議案全て原案どおりご議決、ご認定をいただきましたことにつきまして厚く御礼を申し上げます。

また、会期中の本会議並びに委員会審議を通じまして賜りましたご意見、ご要望等につきましては、今後の町政運営の中で検討を重ねながら取り組んでまいりたいと考えております。今後とも本町発展のために一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、まことに簡単でございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

○議長（辻 一夫君） それでは、これにて閉会いたします。

ありがとうございました。ご苦労さまでございました。

午前10時59分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する

田原本町議会議長 辻 一 夫

田原本町議会副議長 森 井 基 容

田原本町議会議員 植 田 昌 孝

田原本町議会議員 松 本 美也子

田原本町議会議員 小 走 善 秀